

# 令和6年度 事業予定

資料4

全国科学博物館協議会

令和6年度の事業に関しては、下記の通り予定するものの、今後の社会情勢による影響を十分考慮し、実施については個別事業ごとに適時に判断するものとする。

## 1 管理運営

事項	内 容
第1回 理事会	期 日 令和6年7月4日(木) 会 場 国立科学博物館 大会議室 及び オンライン
第1回 総 会	期 日 令和6年7月4日(木) 会 場 国立科学博物館 講堂 及び オンライン 施設見学 令和6年7月5日(金) 見学先：東京ガス株式会社 がすてなーに ガスの科学館
第2回 理事会	期 日 令和7年2月12日(水) (予定) 会 場 兵庫県立人と自然の博物館 及び オンライン
第2回 総 会	期 日 令和7年2月12日(水) (予定) 会 場 兵庫県立人と自然の博物館 及び オンライン

## 2 事業

### (1) 研修事業

事項	内 容
学芸員専門研修 (アドバンスコース)	博物館の現状を幅広い観点から理解するとともに、博物館等における調査研究、資料の収集・保管、展示、学習支援活動等について、専門的、実践的な研修を行う。  期 間 令和6年11月11日(月)～14日(木) 共 催 者 国立科学博物館  対 象 自然科学系博物館またはその他の博物館等において自然科学系部門を担当する中堅学芸員等専門職員。  内 容 12名 海生無脊椎動物における研究・標本採集・管理の方法等 (動物研究部による研修を実施予定)
オンライン学芸員専門 研修	博物館等における調査研究、資料の収集・保管、展示、学習支援活動等について、オンライン形式で研修を行う。  期 間 令和7年1月～3月頃(予定) 共 催 者 国立科学博物館 対 象 博物館等で自然科学系部門を担当する学芸員及び職員等。 50名程度 内 容 未定(人類研究部による研修を実施予定)
海外科学系博物館 視察研修	台湾の科学系博物館等における運営、展示技術、学習支援活動等について理解を深め、博物館の充実、発展に資することを目的として海外視察研修を実施する。  期 間 令和7年1月中旬頃 1週間程度 共 催 者 (一財)全国科学博物館振興財団 対 象 正会員、維持会員、購読会員 15名程度 訪 問 館 台湾の博物館施設(予定) 備 考 財源の一部として(公財)カメイ社会教育振興財団の助成に応募。
海外施設調査	海外の科学系博物館等における取り組みについて調査し、自館の運営に活かすとともに博物館同士の国際交流や共同事業実施への基盤形成へつなげることを目的に実施する。  期 間 令和6年10月～令和6年11月(7日～8日間程度) 対 象 正会員 3名 訪 問 館 インドネシア、シンガポール、イタリア、米国の博物館施設等 備 考 財源の一部として(公財)カメイ社会教育振興財団の助成に応募。

(2) 連携促進事業

事項	内容
研究発表大会	<p>科学系博物館に共通する課題や各館の活動成果について発表及び協議し、学芸員等博物館専門職員の活動の一層の充実に資することを目的とし開催する。</p> <p>期 日 令和7年2月13日(木)、14日(金) (予定)            共催者 (一財)全国科学博物館振興財団            会場 兵庫県立人と自然の博物館 及び オンライン(発表者は現地参加のみ)</p>
巡回展の実施協力	<p>加盟館園を対象として、制作展示の巡回展の広報を行う。</p> <p>【加盟館による募集展示】            巡回展「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」 (製作：国立科学博物館)            巡回展「博物館が支える 日本の生物多様性」 (製作：国立科学博物館)</p> <p>パネル展「地中熱 あなたの足元に再生可能エネルギー」 (製作：産業技術総合研究所 地質標本館)            パネル展「進化する地質図 -GSJ140 年目の地質情報-」 (製作：産業技術総合研究所 地質標本館)            パネル展「美しい砂の世界-日本の砂、世界の砂、地層の砂-」 (製作：産業技術総合研究所 地質標本館)            パネル展「日本初！日本列島大分析 元素で見る『地球化学図』」 (製作：産業技術総合研究所 地質標本館)            パネル展「祝チバニアン誕生！拡大版-もっと知りたい千葉時代-」 (製作：産業技術総合研究所 地質標本館)            パネル展「日本列島ストレスマップ-地震観測とAIで読み解く 全国の地殻応力場-」 (製作：産業技術総合研究所 地質標本館)</p> <p>パネル展「『時』 展覧会2020」 (製作：「時」展覧会2020実行委員会)</p> <p>巡回展示「ラ・ビレット展」 (製作：(公財)日本科学技術振興財団)            巡回展示「マグネット展」 (製作：(公財)日本科学技術振興財団)            巡回展示「スポーツを科学する」 (製作：(公財)日本科学技術振興財団)            巡回展示「感覚・体感フィールド」 (製作：(公財)日本科学技術振興財団)            巡回展示「科学捜査展」 (製作：(公財)日本科学技術振興財団)            巡回展示「究める！マグネット展」 (製作：(公財)日本科学技術振興財団)            巡回展示「科学捜査展 #SEASON2」 (製作：(公財)日本科学技術振興財団)            巡回展示「マスレチック・ランド」 (製作：(公財)日本科学技術振興財団)            巡回展示「光の世界」 (製作：(公財)日本科学技術振興財団)            巡回展示「自然現象のメカニズム展」 (製作：(公財)日本科学技術振興財団)</p> <p>コミュタン福島学習パネル (製作：福島県環境創造センター)</p>
科学系博物館ネットワークシステム事業への協力	<p>国立科学博物館が行っている科学系博物館情報ネットワークシステム事業(S-net)について、事業推進、参画館の拡大に協力する。</p>
事業に対する後援	<p>加盟館園や関係機関等が実施する事業で、全科協の設置目的に適合し、相当と認められた事業に対し後援を行う。</p>

(3) 広報普及事業

事項	内容
機関誌の発行	<p>全科協ニュース編集委員会を開催し、特集テーマ等加盟館園にとって有益な情報を掲載するよう内容の充実を図る。</p> <p>全科協ニュース編集委員会：令和6年5月28日(火)開催            ※全科協ニュースは年6回編集発行(A4判16頁内カラー4頁、850部)</p>
入会案内及び広報活動	<p>全科協ホームページ及びfacebookやメーリングリストを活用して加盟館園への情報周知、内容のさらなる充実を図る。            他の博物館等協議会や関連企業等と情報交換し、リーフレットを配布するなど全科協への加盟促進の広報に努める。</p>